

滝石典子（たきいしのりこ）さん



【自己紹介】

2006年に推進員になりました。その後、西土佐内の老人クラブや敬老会などで、温暖化防止セミナーを行い、2007年、2008年の「コツコツカツコツコンテスト」（環境省の温暖化対策「一村一品知恵の環づくり」事業）に参加しました。

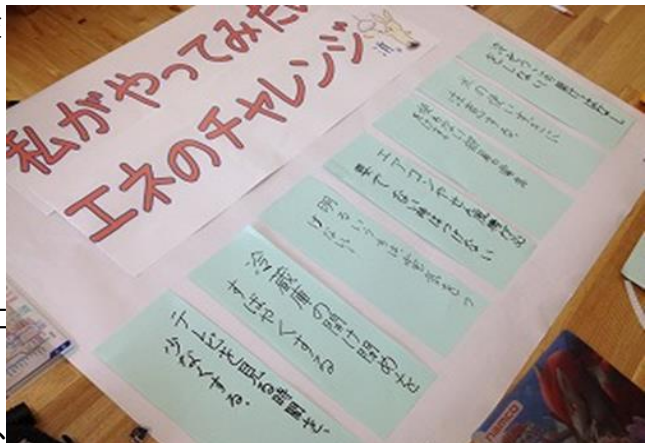
【得意分野は？】

ゴミ問題や環境教育について県西部、幡多地区の小学生や大人を対象に講演を行ったり、クイズなどの遊びを取り入れた活動です。

【最近どんな活動をしましたか？】

2012年7月および10月、四万十市西土佐小学校で、「エコエコ家計簿出前授業」を実施しました。地球温暖化について6年生のクラスで、クイズやDVDを使いながら説明し、児童たちに自分ができる温暖化防止行動を考えてもらいました。児童たちの活発な意見発表がありました。

また、2013年12月、西土佐小学校で「エコエコ家計簿出前授業」を実施し、テントの周りに地球温暖化を説明するパネルを並べ、通る人たちに見てもらおうと共に、各種チラシ、リーフレットを配布して地球温暖化防止を呼びかけました。



【印象に残っている活動は？】

2013年11月30日土佐清水産業祭でテントにて、地球温暖化についてアピールした時にクイズの答え合わせをすると、「日本人はそんなに二酸化炭素を出しているんですか？何とかしなくちゃね」という人が何人かいたことですね。

安部順子（あべ じゅんこ）さん



【自己紹介】

昭和60年頃から「高知友の会」に入り、「適量の生活」（必要な量以外使わない生活）を実践しています。ゆくゆくはそれが平和な社会を作るという考え方なので、電気もガスも水道も必要な分だけを使い、常に家計簿につけていました。

【得意分野は？】

家庭の省エネ、ゴミ問題など生活視点の環境問題について取り組んでいますが、家が高知市なので、主に中部で活動しています。

【どのような方を対象に活動していますか？】

小学校5、6年生や幅広い年齢層の女性の方たちに向けての働きかけをしています。

【具体的にどんな活動をしていますか？】

月一回「家計グループ」の会合を行っています。毎回だいたい15人ほど集まります。毎月、食費と主食費、調味料費の家計簿、それから光熱費は電気・水道・ガス、ガソリンなどを持ち寄ります。家計簿から使用量と料金を抜き出して書き出す用紙があり、皆が提出した集計を月報にして毎月発表しています。

使ったものを「記録する」ことで、自分自身が無意識にいろんなものを使っていることに気づきます。実際、数字を出して初めてわかることもあります。それにほかの人と一緒に勉強していると、「どうしてこんなに少ないの?」とか「どんな工夫しているの?」と聞ける良さがありますね。また、友の会は高知だけではなく全国にあります。年に2回、旧友の会という一緒に考える会が四国地区でのグループ討議があって、これに出ると、香川の人たちはもったきっちりしていて、私たちは結構少ない方だと思って発表すると、まだまだ甘いと思知らされることも。「もっと、ここを工夫したらいいのよ」と厳しく教えてくれるんですよ。

【印象に残っている活動は？】

月に一度「家計グループ」の集会があります。集会の中身は家計簿だけのことにとどまらず、生活全般のこと。今月のテーマは「消耗品」でした。これはCO2削減にもいずればつながっていくことです。洗剤やティッシュ、トイレトペーパーという消耗品をたくさん使わないということに焦点を合わせて、各自、お家で家計簿をつけてもらいました。今回トイレトペーパーの取り替え時期をカレンダーにつけてもらったところ、差が歴然としていました。いろんなおうちがあります。家族数がだいたい3人のところが多かったですが、一週間に一個交換が平均的でした。洗剤もだいたい合成洗剤を一カ月にひと箱も使っています。ちょっとこれは多すぎます。みんなちゃんと計量しているのかな?もう少し考えなくてはいけないと皆で話し合いました。

昨年12月に小学校を対象に、子供でも簡単に取り組める環境家計簿の出前授業を行いました。子供たちが環境の話結構喜んで聞いてくれて、今年2月実施予定の出前授業では、前回教えた環境家計簿で子供たちの生活にどんな変化があったかわかります。これがとても楽しみです。

宮地亀好（みやじきよし）さん



【自己紹介】

製紙会社勤務を経て、県の紙産業技術センターで、製紙工場などの省エネルギー技術指導を行っていました。平成17年11月より省エネルギー普及指導員になり、平成19年より高知県温暖化防止推進員として活動しています。

【得意分野は？】

主として紙や木材に関連した環境問題。ケナフや古紙からの紙漉き等を通じての環境問題やエネルギー問題について、東京、京都、名古屋など、県内外を問わず活動しています。

【どのような方を対象に活動していますか？】

主として小学生ですが、そのほか、一般市民や中学生にも話をしに行ったりします。

【どんな方法で実施していますか？】

オリジナル紙芝居やクイズなどでの講演の後、ケナフや古紙からの紙漉き体験や紙漉き道具の製作などの体験を通して伝えています。

【具体的にどんな活動をしていますか？】

最近の活動では、学童クラブ（30人）や家庭参観日の環境授業で温暖化防止の話や紙漉き体験実習を下田小、西土佐小、潮江東小、野田小、舟入小、夜須、安田小、吉良川小、元小、羽根小、森林センターなどで行いました。

片地小・香長小・岸本小などではケナフの種まきから、料理教室、収穫、卒業証書漉き、卒業証書用オリジナル紙製ホルダーの製作を10年以上実施しています。

また昨年12月19日に香美市の公民館活動の一環で「高知県の温暖化の現状と私たちの出来る事」の講演会を行いました。これは毎年継続実施をしていて、市民の関心を高めています。



武市智（たけち さとる）さん

【自己紹介】

平成19年6月に高知県地球温暖化防止活動推進員になり現在6年目です。平成20年までは高知県全域対象でしたが、24年度以降は体調に問題が生じたため現在は、活動を控えています、時々地球温暖化についての講演をしたりしています。

【得意分野は？】

地球温暖化の現状と将来の見通しおよび、温暖化の影響をできるだけ小さくするために私たちにできること等をテーマにした講義ですが、主催者の希望により気象・地震災害の対応策を加えています。最近は地震関連が多くなりました。

【どのような方を対象に活動していますか？】

社会人を対象に、90分程度の講演を行っています。

【具体的にどんな活動をしていますか？】

平成25年9月13日「高知城友の会」にて「高知の気象災害と気候変化」をテーマに、昨年8月の極端な天候の原因、および温暖化の現状と見通し、対応策などについて講演しました。

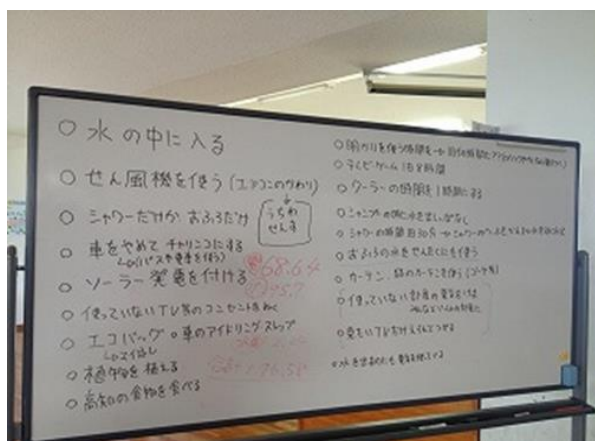
また、平成25年10月24日「香美市市民セミナー環境講座」にて、昨年8月の極端な天候の原因、温暖化の現状と見通しと対策について講演行ったり、平成25年11月10日香南市ふれあいセンターにて「香南市やまももクラブ」35名。講演は希望により「香南市が直面する当面の災害」と題して、気象・地震から身を守るための方策などを伝えました。



三好裕子（みよしゆうこ）さん

【自己紹介】

推進員として活動を始めたのは平成20年からで、今年6年目になります。主に、いの町と高知市内で地球温暖化防止の環境課教育を小学生（主に高学年）に対して行っています。



【取り組みで大切にしていることは？】

出前授業を通して、地球温暖化に関する基礎知識を知ってもらい、子供たち自身が主体となって考えて行動できる内容にしたいと心がけています。

【具体的にどんな活動をしていますか？】

最近の取り組みでは、伊野南小学校、旭小学校にて「子どもにもつけられる環境家計簿プロジェクト」の出前授業を2時間×2回行いました。1回目の授業では、スライドショーで地球温暖化について知ってもらったあと、児童自身が家庭で出来る地球温暖化防止の取り組みを考えて実行し、簡易版の環境家計簿（家庭内のエネルギー使用量、二酸化炭素排出量の調査）をつけてもらいました。2回目の授業では、地球温暖化について簡単に復習し、児童が持ち寄った結果について一緒に考え、気づいたことを共有し、さらにこれからどんなことができるかを考えました。

これによって、地球温暖化について考えて行動する体験や、環境家計簿について知ってもらう機会を、のべ200人ほどの児童に与えることができました。参加した子どもたちをエコ隊長に任命して、短い期間でも主体的に活動してもらうことで、学校でも環境について考えることが習慣化してきていると先生から伺いました。

伊野南小学校では、H21から続けて出前授業をさせていただいたことで、先生方とのつながりや、信頼関係を築くことができ、5年生で環境教育（地球温暖化について）に取り組むことが当たり前になったと聞きました。

また、高知大学では環境出前授業の紹介をしました。ここでは出前授業の流れの説明（スライドショー）と、模擬出前授業の実施を説明。残念ながら活動に参加してくれる大学生の発掘には至らなかったけれど、活動について普及することはできました。

西岡親男（にしおか ちかお）さん



【自己紹介】

推進員になる前はカーディーラーに勤めていました。この仕事をすることになったきっかけは、車に乗っているときカーラジオから推進員募集の案内が流れて、そのとき「あっ、気にはなっていたけど自分にはないものだな、何か得るものがあるんじゃないだろうか」と直感的に思ったんです。急いで車を駐車場に停めて、県庁に電話して、締め切り3日前に作文を書いて提出したものでした。

車の仕事をしていたものだから、CO2をまき散らしよったわけで、あの頃はエコとか省エネとかを本当に自分のものとしてとらえてなくて、自分が今どれぐらい生活し、活動する中でどれだけCO2をまき散らしゆうかわかってなかったから、これはちゃんと勉強してみようと思ったんですよ。

【どのような方法で実施していますか？】

主に環境教育、食育についてで、県下全域の小学校で出前授業を実施しています。紙芝居を読んだり、省エネのDVD映像を見ながら解説します。そして食育についても力をいれていて、季節のものを食べる、旬のものを食べることによって、たとえば根菜類は冬、体を暖かくできるということ

【最近取り組んだ活動は？】

伊野南小学校で出前授業を行いました。その成果については今年の2月の出前授業でわかるんですが、子供たちと約束したこともあります。たとえば本山小学校の4、5年生の方には、みなさんの家は冬、雨戸を閉めるかどうかということをお話しました。すると一割ぐらいの方が「閉めます」という答えなんです。その理由は治安のこともあるだろうし、おじいちゃんおばあちゃんの時代からずっとやっている習慣だったり、寒さ対策ということもあるだろうと思います。

私は寒さ対策に窓にぷちぷちを貼ろうと何度か試したけど失敗しました。どうもうまくいなくて、どうしたらこの家の中をお湯のポットのように保温できるか考えた。冬は畳を上げて床板の上にダンボールや新聞紙を敷いて、窓を閉めて、雨戸を閉めたら、ストーブに使う灯油の消費はどれぐらい違うのか、ノートに集計をつけて調べてみました。

結果として、雨戸を閉めると18リットル1円ですけど、18リットルは確実に減りました。そんなわけで記録をつけ始めてほぼ5年目になります。家内が家計簿はつけていますが、僕は家族が使うガソリンと灯油をつけています。

たとえば、いつ頃ストーブをつけて、いつ頃やめたかつけていると、一昨年はもう10月にはストーブをつけているんですよ。あれ？と思いましたよね。そういう年はやはりトータルすると灯油の消費が多い。しまう時期は毎年だいたい同じ3月ぐらいです。そういった記録は、出前授業の中でお話します。やはり僕自身の体験から出てきた記録だから責任もとれるし、話もしやすい。みなさんに共感してもらえるんですよ。